AFC neo
COLOR DISPLAY AIRFLOW CONVERTER

取扱説明書

このたびは AFC neo（商品コード：401-A018、以下、本製品とする）のお買い上げ、まことにありがとうございます。

本製品を正しくご使用いただくために、この取扱説明書（以下、本書とする）をよくお読みくださるよう、お願い申し上げます。また、本書は本製品を使用する際、すぐに取り出せる場所に保管してくださるよう、お願い申し上げます。

車両への適合についてご不明な点は、本書裏表紙記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

本製品を他のお客様にお譲りになる際は、本書もあわせてお譲りくださるよう、お願い申し上げます。

※ 本書でいう「使用」とは、「取付け」や「取扱い」を指します。

APEXi®

目　次

1. 安全上の注意

表示の説明…… 3
安全上の注意…… 4
⚠ 警告…… 4
⚠ 注意…… 5
お 願 い …… 6

2. はじめに

仕様および動作環境…… 7
特徴…… 7
パーツリスト…… 8

3. 初期設定

本製品をご使用になるまでの手順…… 9

4. 機能・操作説明

全項目一覧…… 10
各部名称・操作説明…… 12

5. モニタメニュ

基本操作…… 14
Digital …… 15
Analog…… 16
Multi …… 17

6. セッティングメニュ

Air Map …… 18
Air Map Graph …… 20
Thr Point…… 21
Dec Air …… 23
V/T Control …… 25
V/T Unmatch…… 27

7. etc. メニュ

Model Select …… 29
Mode Select …… 30
Car Select (Thr Setting) …… 31
Sensor Select…… 32
Analog Scale …… 34
Warning Set …… 35
Display Set…… 36
Sensor Check…… 39
Initialize …… 40
Program Ver.…… 40
Setting note …… 42

8. トラブルシューティング

こんなときは？…… 44

9. その他

保証について
改定の記録
お問い合わせ先

1. 安全上の注意

本製品を安全にご使用いただくために、ご使用の前に「安全上の注意」をよくお読みください。

表示の説明

本書には、お使いになる方や周囲の方への危害や財産への損害等を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用いただくための注意事項を表示しています。
それぞれの表示の意味は下記のようになっておりますので、内容をご確認の上、本書をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して使用した場合は、使用者や第三者が死亡、または重傷を負うことが想定されます。

⚠ 注意

この表示を無視して使用した場合は、使用者や第三者が傷害を負うこと、または物的損害の発生が想定されます。

お願い

この表示を無視して使用した場合は、本製品本来の性能が発揮できない、または故障を誘発することが想定されます。

安全上の注意

⚠ 警 告

□ 弊社指定の方法以外で使用しない

本製品ならびに付属品を、本書記載以外の方法で使用した場合は事故を誘発したり、火災や感電、故障の原因になることがあります。
また、その際に生じた損害や損失に対する補償には一切応じられません。

□ 対応車両以外に使用しない

別冊、車種別配線図に記載の無い車両での動作は保証できません。
対応車両以外に使用した場合は事故を誘発したり、火災や故障の原因になることがあります。

□ 運転中に操作・注視しない

運転者は走行中に本製品を操作したり注視してはいけません。
運転操作に支障をきたし、事故を誘発することがあります。

□ 分解や改造、修理を行わない

お客様による分解や改造、修理はおやめください。
事故を誘発したり、火災や破損の原因になる場合があります。
内部で高電圧を使用しているため感電の恐れがあります。

⚠ 注 意

□ 動作環境を厳守する

本製品の仕様および動作環境（７ページ）を超える環境で使用した場合の動作は保証できません。
動作不良を起こしたり、火災や故障の原因になることがあります。

□ 水気のある場所、湿気の多い場所で使用しない

動作不良を起こしたり、故障の原因になることがあります。

□ 落下させたり強いショックを与えたりしない

動作不良を起こしたり、火災や故障の原因になることがあります。

□ 異常が見られたら使用を中止する

煙が出ている、異臭がする等の異常が見られた場合はただちに使用を中止し、本書裏表紙記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

お願い

コネクタを取り外す場合はハーネスを引っ張らず、コネクタを持って取り外してください。
また、ハーネスに無理な力がかからない状態で使用してください。

取付け場所やハーネスの取回しによっては、ラジオ・テレビ 等に雑音が入る可能性があります。

通電中に熱を発する部分がありますが、異常ではありません。

修理時はメモリ内容を初期化した、弊社出荷状態でのご返却となります。大事な設定データはメモなどを取り、大切に保管しておいてください。

同一表示パターンで長時間点灯しますと若干の輝度ムラガ発生することがあります。美しい表示品質を保つため、同一表示パターンを避けていただくことをお薦めします。

2. はじめに

このたびは本製品のお買い上げ、まことにありがとうございます。
本製品を正しくご使用いただくために、本書をよくお読みくださるよう、お願い申し上げます。

仕様および動作環境

電源：直流 (DC)10 ～ 16［V］
別冊、車種別配線図記載のあるバッテリ電圧が 12［V］の車両

周囲温度：0 ～ 60［℃］
結露なきこと。
直射日光が当たらないこと。

⚠ 注意

□ 仕様を超えた条件で使用しない
仕様を超えた条件で使用すると動作不良を起こしたり、火災や故障、事故の原因になることがあります。

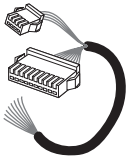
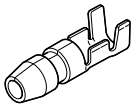
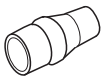
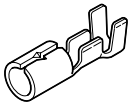
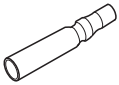
特徴

AFC neo はエアフロセンサや圧力センサ信号をもとに、エンジン回転数ごとに細かく燃料の調整ができるサブコンピュータです。エアクリーナやマフラ交換のライトチューンでも、程度差はありますが空燃比のズレが発生します。これは吸排気効率が上がり吸入空気量が多くなった為ではなく、エアフロセンサを通過する空気の流れかたが変わり、エアフロセンサで検出された空気量と実際の空気量とに差が生じてしまう為です。AFC neo でこの差を補正して本来の空燃比やモア パワーを狙ったセッティングにすることが可能です。また、VTEC コントロール機能やエンジンストール防止機能などの多彩な機能を備えています。さらに豊富なモニタ機能により、車両のコンディションを確認するメータとして使用することもできます。

□ 有機 EL モニタ採用
□ デジタル表示、アナログ表示の他、デジタル＋アナログ複合のマルチ表示など、多彩なモニタ表示
□ 燃料補正は、初心者向けの『EASY』、プロフェッショナル向けの『PRO』の 2 パターンを用意
□ VTEC コントロール機能はエンジン回転数設定の他、吸気管圧力やスロットル開度の設定が可能
□ 設置場所を選ばない左右反転機能を搭載
□ バッテリを外しても初期化されないバッテリレスメモリ

パーツリスト

本製品取り付けの前に、必ずパーツリストと照合し、欠品や異品のないことを確認してから取り付けてください。パーツリストと相違があった場合はお買い求めの販売店、または本書裏表紙記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

① 本体（本製品）	② 取り扱い説明書（本書）	③ 車種別配線図
1台	1冊	1冊
④ 保証書	**⑤ 信号ハーネス**	**⑥ オスギボシ**
1枚	 1本	 8個
⑦ オススリーブ	**⑧ メスギボシ**	**⑨ メススリーブ**
 8個	 8個	 8個
⑩ スプライス	**⑪ マジックテープ**	
7個	1個	

3. 初期設定

本製品をご使用になるまでの手順

□ 本体を車両に取り付ける

別冊、車種別配線図に取り付け方法の詳細が記載してあります。車種別配線図を参照して、取り付けを確実に行ってください。

□ イグニッションキーを ON にする

本製品及び車両に異臭や異音がないことを確認します。ここでは、まだエンジンを始動しないでください。

□ 本製品の初期設定を行う

エンジンを始動する前に、以下の初期設定を行ってください。

- **VTEC コントロール「On」「Off」の選択 (29 ページ)**
- **『EASY』モード『PRO』モードの選択 (30 ページ)**
- **気筒数、スロットルセンサ特性の選択、スロットル開度設定 (31 ページ)**
- **エアフロセンサの選択、センサ特性の選択 (32 ページ)**

□ エンジンを始動する

以上で初期設定は終了しましたので、モニタメニュやセッティングメニュの機能が有効になります。

□ 初期設定を行うまでは、エンジンを始動しない

初期設定を行わずにエンジンを始動させると、エンジン破損する原因になります。

⚠ 注意

□ 異常を感じたら、すみやかに使用をやめる

本体の取付けや初期設定を確実に行ったのにもかかわらず、表示が出ない、異臭、異音の異常を感じたらすみやかに使用をやめ、お買い求めの販売店、または裏表紙記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

4. 機能・操作説明

全項目一覧

メインメニュ

いわゆる"トップページ"です。ここからモニタメニュ、セッティングメニュ、etc. メニュへ入れます。

モニタメニュ

車両から AFC neo に入力される信号をデジタル表示、アナログ表示、デジタル＋アナログ複合のマルチ表示の中から選択します。

セッティングメニュ

エアフロ、又は吸気管圧力の補正マップや、VTEC コントロール、その他、セッティングに関わる各種設定を行います。

etc. メニュ

初期設定やモニタメニュでのウォーニング設定、画面のカスタマイズや初期化などを行います。

モニタメニュ表示項目一覧

表示名称	単位	意味
Rev	rpm	エンジン回転数を表示します。
Thr	%	スロットル開度を表示します。
Bat	v	バッテリ電圧を表示します。
Cor	%	エアフロ、又は吸気管圧力の補正率を表示します。
Afl	%	エアフロ（ホットワイア・フラップ）使用率を表示します。
Prs	kPa	吸気管圧力を表示します。
Kar	Hz	カルマンセンサ周波数を表示します。
V/T Monitor(※)	rpm	純正 VTEC コントロールと本体 VTEC コントロールを表示します。

※ VTEC コントロール On 選択時のみ表示します。

セッティングメニュ項目一覧

表示名称	意味
Air Map	エアフロ、又は吸気管圧力の補正マップです。
Air Map Graph	Air Map を 2 次元グラフに切り替えます。
Thr Point	2 種類のスロットル開度別補正マップを設定します。
Dec Air(※ 1)	減速時のストール防止を設定します。
V/T Control(※ 2)	VTEC コントロールを設定します。
V/T Unmatch(※ 2)	VTEC コントロール設定時の燃料のズレを補正します。

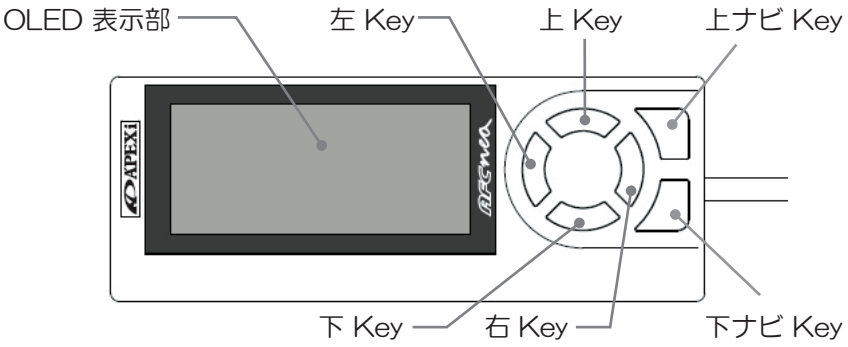
※ 1 . VTEC コントロール Off 選択時のみ表示・機能します。
※ 2 . VTEC コントロール On 選択時のみ表示・機能します。

etc. メニュ項目一覧

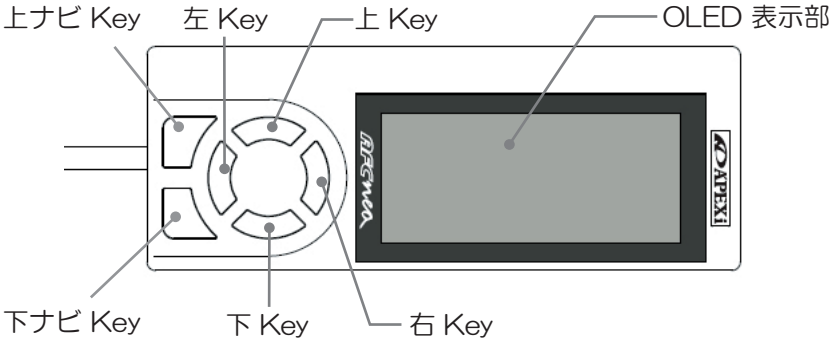
表示名称	意味
Model Select	VTEC コントロール機能の On・Off を選択します。
Mode Select	EASY・PRO モードを選択します。
Car Select	気筒数、スロットル特性の選択。スロットル開度設定をします。
Sensor Select	エアフロセンサの種類とセンサ特性の選択します。
Analog Scale	モニタメニュでアナログ表示を選択時、文字盤のスケールを設定します。
Warning Set	モニタメニュでの各種ウォーニングを設定します。
Display Set	表示の色や明るさ、左右反転機能、スクリーンセーバを設定します。
Sensor Check	入力信号のチェック表示です。
Initialize	全てのデータを工場出荷状態に初期化します。
Program Ver.	プログラムバージョンの確認画面です。

各部名称・操作説明

■ 各部の名称



左右反転機能を『Left』に設定した場合は、以下の名称になります。



■ 基本操作

各キー操作の意味

上 key：カーソルを上へ移動する時や数値を増やす場合に操作します。
下 Key：カーソルを下へ移動する時や数値を減らす場合に操作します。
左 Key：カーソルを左へ移動する時やひとつ前の画面にもどる時に操作します。
右 Key：カーソルを右へ移動する時やひとつ先の画面に進む時に操作します。

上ナビ Key：ひとつ前の画面へ戻る操作と画面にナビ Key 表示があった場合、
この表示に準じます。
下ナビ Key：ひとつ先の画面へ進む操作と画面にナビ Key 表示があった場合、
この表示に準じます。

例）

ナビ Key 表示の意味

PRV：ひとつ前の画面へ戻る時に操作します。
SEL ：項目選択する場合やカーソル移動する場合に操作します。
CAN：キャンセルする場合に操作します。
OK ：設定内容を実行する時に操作します。

5. モニタメニュ

モニタメニュは、AFC neo に入力している信号と AFC neo で出力している信号を、数値とグラフで表示する『Digital』、アナログメータの様な表示の『Analog』、前記の表示を複合した『Multi』の三種類の表示を選択できます。

基本操作

モニタメニュで、『Digital』、『Analog』、『Multi』を選択するまでの基本操作は、下記の通りです。

① 『MAIN MENU』から 左右 Key でカーソルを『Monitor』に合わせます。
その後、下ナビ Key を押し次の『Monitor Menu Select』へ進みます。

アイコンの周りが黄色になっている部分がカーソルの位置です。

② 『Monitor Menu Select』では、表示させさせたいメニュに 上下 Key でカーソルを合わせて 右 Key 又は下ナビ Key で決定します。

メニュ内が明るい色になっている部分がカーソルの位置です。

以上がメインメニュ、モニタメニュ内の基本操作です。ここから先の操作については、表示別に記載します。

Digital

『Digital』は『1 Channel』から『4 Channel』まで、それぞれ選択できます。『1 Channel』とは 1 項目表示、『4 Channel』とは 4 項目表示の意味です。各 Channel から選択された表示項目をそれぞれ数値とグラフにて表示します。表示項目については、11 ページの『モニタメニュ表示項目一覧』を参照してください。

□ 操作方法

基本操作 ② より『Digital』を選択し決定した後、『Digital Channel Select』で表示したい Channel を 上下 Key でカーソルを合わせて、右 Key 又は 下ナビ Key で決定します。ここで選択されたモニタ表示を開始します。

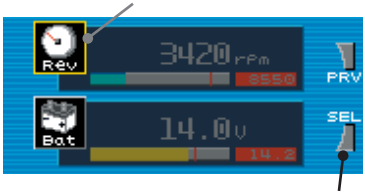
メニュ内が明るい色になっている部分がカーソルの位置です。

モニタ表示の最中に上 Key 操作すると、ピーク表示されます。ピーク表示の解除は 下 Key 操作で解除されます。ピーク表示中に右 Key 操作するとピーク値がクリアされます。
ウォーニング時は etc. モードの『Warning Set』で設定した数値以上になると、モニタ表示の数値とグラフが点滅します。

現在値　　ピーク値

表示項目を変更したい場合は、下ナビ Key「SEL」を操作するとアイコンのみ明るくなります。変更したい Channel は上下 Key でカーソル移動し、変更したい表示項目は 左右 Key で変更します。変更終了後は 下ナビ Key「SEL」を操作すれば通常のモニタ表示に戻ります。

アイコンの周りが黄色は現在のカーソル位置です。

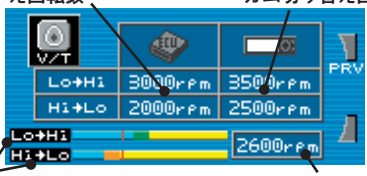


表示項目変更

□ V/T Monitor

VTEC コントロール On 選択時には、純正の VTEC コントロールと AFC neo で設定した VTEC コントロールをモニタすることができます。『Digital Channel Select』の最下段にカーソルを選択してください。

純正のカム切り替え回転数　　AFC neo で設定したカム切り替え回転数



VTEC ステータスバー
Lo → Hi、Hi → Lo に切り替わった回転数をバー表示します。バー表示の色については、27 ページ『V/T Unmatch』を参照下さい。

現在のエンジン回転数

Analog

『Analog』は『1 Channel』と『2 Channel』から選択できます。各 Channel から選択された表示項目をアナログメータで表示します。表示項目については、11 ページの『モニタメニュ表示項目一覧』を参照してください。

□ 操作方法

基本操作 ② より『Analog』を選択し決定した後、『Analog Channel Select』で表示したい Channel を上下 Key でカーソルを合わせて、右 Key 又は下ナビ Key で決定します。ここで選択されたモニタ表示を開始します。

メニュ内が明るい色になっている部分がカーソルの位置です。

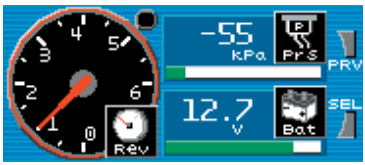
モニタ表示の最中に 上 Key 操作すると、緑色の指針が現れ、ピーク表示します。ピーク表示の解除は下 Key 操作で解除されます。ピーク表示中に右 Key 操作するとピーク値がクリアされます。
ウォーニング時は etc.メニュの『Warning Set』で設定した数値以上になるとメータ指針が青色に点滅し、メータ右上のランプが赤色点滅します。

表示項目を変更したい場合は、下ナビ Key「SEL」を操作するとアイコンのみ明るくなります。変更したい Channel は上下 Key でカーソル移動し、変更したい表示項目は 左右 Key で変更します。変更終了後は 下ナビ Key「SEL」を操作すれば通常のモニタ表示に戻ります。

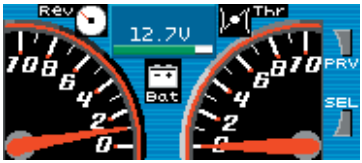
アイコンの周りが黄色は現在のカーソル位置です。

Multi

『Multi』は表現方法によりアナログ表示 1 項目とデジタル表示 2 項目の『Type - A』と、アナログ表示 2 項目とデジタル表示 1 項目の『Type - B』の 2 種類から選択できます。表示項目については、11 ページの『モニタメニュ表示項目一覧』を参照してください。



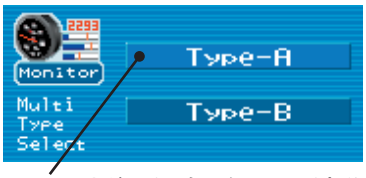
『Type - A』



『Type - B』

□ 操作方法

基本操作 ② より『Multi』を選択し決定した後、『Multi Type Select』で表示したい Type を上下 Key でカーソルを合わせて、右 Key 又は下ナビ Key で決定します。ここで選択されたモニタ表示を開始します。

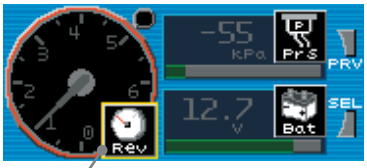


メニュ内が明るい色になっている部分がカーソルの位置です。

モニタ表示の最中に上 Key 操作すると、ピーク表示されます。ピーク表示の解除は下 Key 操作で解除されます。ピーク表示中に右 Key 操作するとピーク値がクリアされます。
ピーク値の表示はそれぞれデジタル表示、アナログ表示に準じます。
ウォーニング時は etc.メニュの『Warning Set』で設定した数値以上になると、デジタル表示、アナログ表示に準じたウォーニング表示をとします。

ピーク表示時は緑色の指針

表示項目を変更したい場合は、下ナビ Key「SEL」を操作するとアイコンのみ明るくなります。
変更したい表示箇所は上下 Key でカーソル移動し、変更したい表示項目は左右 Key で変更します。変更終了後は下ナビ Key「SEL」を操作すれば通常のモニタ表示に戻ります。



アイコンの周りが黄色は現在のカーソル位置です。

6. セッティングメニュ

エアフロ信号の補正率（エア補正率）やストール防止機能、VTEC 切り替え機能など補正に関する設定を行なうメニュです。
モニタメニュの基本操作（14 ページ）①より『Setting』を選択します。
『Setting Menu Select』の操作はモニタメニュの基本操作②に準じます。

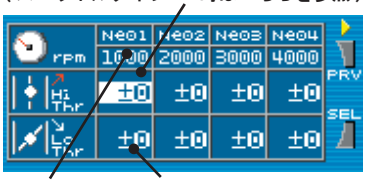
Air Map

AFC neo では入力されたエアフロ（圧力）信号を空気流量（吸気管圧力）に変換し、この値をエア補正率で補正します。
補正された空気流量（吸気管圧力）に相当するエアフロ（圧力）信号を ECU に出力します。
例えば、エア補正率を +5% とすると、AFC neo は空気流量（吸気管圧力）が 5% 増量したものに相当するエアフロ（圧力）信号を ECU に出力します。
ECU は 5% 増量された空気流量（吸気管圧力）と認識し、5% 増量した空気流量（吸気管圧力）に相当する燃料噴射量・点火時期の制御を行います。
エア補正率の設定は、『EASY』モードでは 8 ポイント、『PRO』モードでは 16 ポイントのエンジン回転数ごとに設定可能であり、+50% から -50%(1% 刻み）の範囲で設定できます。
エンジン回転数ポイント間は直線補間によりエア補正率を算出します。また、スロットル信号のある車両ではスロットル開度 Hi、Lo の 2 ポイント間でさらに直線補間を行い、車両運転状況に合わせたよりきめ細かいエア補正率を算出することが可能です。
また、設定値をそのままに一時的に補正制御を止める（エア補正率 ± 0%）ことも可能です。

□ 操作方法

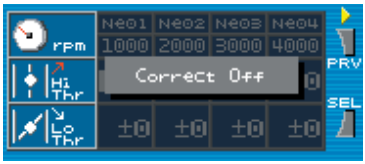
左右 Key でエンジン回転数ポイントの移動を行ないます。
上下 Key で設定値の増減を行ないます。
下ナビ Key「SEL」を操作する毎にエンジン回転数設定・「Hi Thr」時のエア補正率設定・「Lo Thr」時のエア補正率設定の移動を行ないます。
「Ne01」のエンジン回転数ポイントにいる時に左 Key を操作すると「Hi Thr」、「Lo Thr」へ移動します。その状態で下 Key を操作すると画面上に『Correct Off』と表示され、一時的に補正オフ（エア補正率 ±0）になります。ただし、『Air Map』上のエア補正率の設定値は保存されたままになります。
『Correct Off』時に、上 Key を操作すると通常の補正制御に戻ります。

スロットル開度 Hi のエア補正率設定
（スロットルタイプ "-" 時はこちらを参照）



エンジン回転数ポイントの回転数設定値

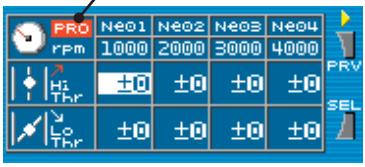
スロットル開度 Lo のエア補正率設定（スロットルタイプ "-" 時は未使用）



補正 OFF 時には画面のように表示されエア補正率± 0になります。

『Mode Select』(30 ページ参照）で『PRO』モードを選択している場合は、画面上に「PRO」の表示が行われます。

PRO モード時に表示されます。



□ 設定範囲

回転数設定：500 [rpm] ～ 9950 [rpm](50rpm 刻み)

※ Ne01 ＜ Ne02 ＜ Ne03・・・＜ Ne08（Ne16）の関係が成立する範囲で設定可能

エア補正率：+50 [%] ～ -50 [%](1 % 刻み)/ 初期値：± 0

□ 制御の流れ

エアフロ（圧力）信号電圧（周波数）を入力

↓

センサ特性マップに従って空気流量（吸気管圧力）値に変換

↓

『Air Map』、『V/T Unmatch』の設定値に従って補正を掛ける

↓

センサ特性マップに従ってエアフロ（圧力）信号電圧（周波数）に変換

↓

ECU へ出力

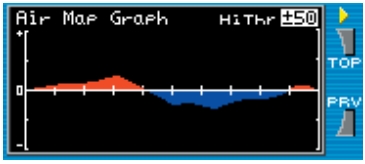
Air Map Graph

『Air Map』で設定されたエンジン回転数ポイントごとのエア補正率をグラフ表示し、視覚的に分かりやすく表示します。
グラフは横軸をエンジン回転数、縦軸をエア補正率で表示されています。横軸の回転数は左端が 0rpm、右端が 10000rpm になります。
縦軸のエア補正率のスケールは ± 6、± 15、± 30、± 50 [%] から選択し表示できます。
『Air Map』の「Hi Thr」のグラフと「Lo Thr」のグラフは別々のグラフとして表示します。

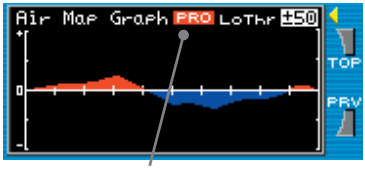
□ 操作方法

左右 Key で「Hi Thr」のマップと「Lo Thr」のマップの切り替えを行ないます。
上下 Key で縦軸のスケールの切り替えを行ないます。

『Mode Select』で『PRO』モードを選択している場合は、画面上に『PRO』の表示が行われます。



+ 側の補正は赤色
- 側の補正は青色で表示されます。



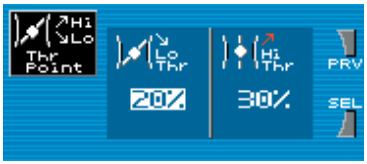
PRO モード時に表示されます。

Thr Point

エア補正率の算出をよりきめ細かい制御にする為に、2 ポイントのスロットル開度を設定し、スロットル開度によるエア補正率の補間算出を行なうことが出来ます。
スロットル開度大 (Hi Thr) とスロットル開度小 (Lo Thr) のスロットル開度を設定します。
「Hi Thr」設定値以上のスロットル開度の時は『Air Map』の「Hi Thr」のエンジン回転数補間されたエア補正率になります。
「Lo Thr」設定値以下のスロットル開度の時は『Air Map』の「Lo Thr」のエンジン回転数補間されたエア補正率になります。
「Hi Thr」「Lo Thr」設定値間のスロットル開度の時は『Air Map』のエンジン回転数補間された「Hi Thr」と「Lo Thr」のエア補正率をさらに直線補間したエア補正率になります。
スロットル信号の無い車両では設定値は無効になります。

□ 操作方法

左右 Key で「Lo Thr」「Hi Thr」の移動を行ないます。
上下 Key で設定値の増減を行ないます。



□ 設定範囲

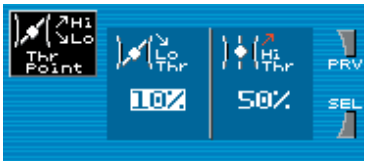
Lo Thr：0 ～ 99 [%](1% 刻み)/ 初期値：10
Hi Thr：1 ～ 100 [%](1% 刻み)/ 初期値：50
※ Lo Thr ＜ Hi Thr の関係が成立する範囲で設定可能

□ 機能概要

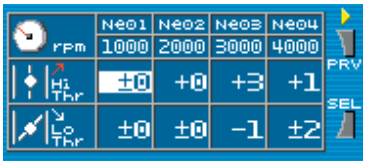
スロットル開度設定による補正率の変化

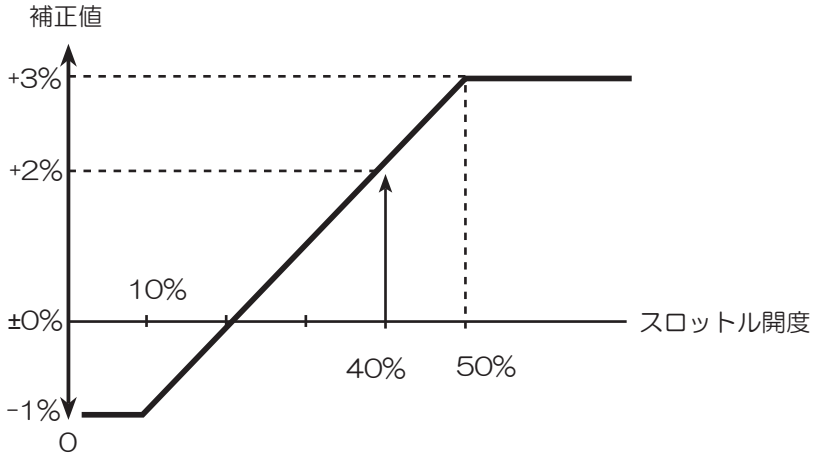
スロットル開度を Lo Thr：10%、Hi Thr：50% に設定した場合、スロットル開度 40%、エンジン回転数 3000rpm 時のエア補正率は次のようになります。

※設定例



※設定例





スロットル開度４０% 時のエア補正率は、次の式より求めることができます。

$$\frac{(3\%-(-1\%))\times(40\%-10\%)}{50\%-10\%}+(-1\%)=2\%$$

□ エンジン回転数設定とスロットル開度設定による補正のかかり方

※ 設定例

Thr Point

Hi Thr	80%
Lo Thr	30%

Air Map **(PRO モード)**

	Ne01	Ne02	Ne03	Ne04	Ne05	Ne06	Ne07	Ne08	Ne09	Ne10	Ne11	Ne12	Ne13	Ne14	Ne15	Ne16
Ne	500	1000	1500	2000	2500	3000	3500	4000	4500	5000	5500	6000	6500	7000	7500	8000
HiThr	2	3	4	3	3	6	7	8	9	9	8	7	5	3	2	1
LoThr	-4	-2	-1	0	1	2	2	2	1	1	0	-1	-2	-2	-3	-3

設定例のようなセッティングにすると、実際は下記表のようなマップで補正します。

アクセル開度(%)	エンジン回転数(rpm) 500	1000	1500	2000	2500	3000	3500	4000	4500	5000	5500	6000	6500	7000	7500	8000	
0	-4	-2	-1	0	1	2	2	2	1	1	0	-1	-2	-2	-3	-3	▲「LoThr」の設定値以下のスロットル開度の時は同じ補正率になります。
10	-4	-2	-1	0	1	2	2	2	1	1	0	-1	-2	-2	-3	-3	
20	-4	-2	-1	0	1	2	2	2	1	1	0	-1	-2	-2	-3	-3	
30	-4	-2	-1	0	1	2	2	2	1	1	0	-1	-2	-2	-3	-3	
40	-2.8	-1.0	0.0	0.6	1.4	2.8	3.0	3.2	2.6	2.6	1.6	0.6	-0.6	-1.0	-2.0	-2.2	▲「LoThr」の設定開度と「HiThr」の設定開度の間のスロットル開度の時は直線補間になります。
50	-1.6	0.0	1.0	1.2	1.8	3.6	4.0	4.4	4.2	4.2	3.2	2.2	0.8	0.0	-1.0	-1.4	
60	-0.4	1.0	2.0	1.8	2.2	4.4	5.0	5.6	5.8	5.8	4.8	3.8	2.2	1.0	0.0	-0.6	
70	0.8	2.0	3.0	2.4	2.6	5.2	6.0	6.8	7.4	7.4	6.4	5.4	3.6	2.0	1.0	0.2	
80	2	3	4	3	3	6	7	8	9	9	8	7	5	3	2	1	▲「HiThr」の設定値以上のスロットル開度の時は同じ補正率になります。
90	2	3	4	3	3	6	7	8	9	9	8	7	5	3	2	1	
100	2	3	4	3	3	6	7	8	9	9	8	7	5	3	2	1	

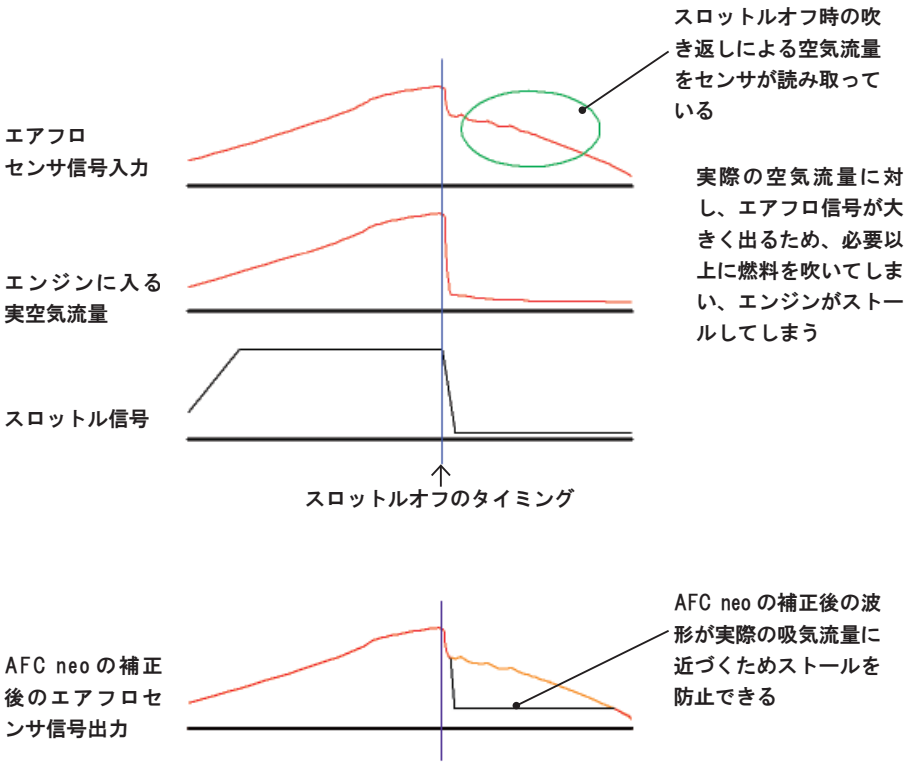
Dec Air

※ VTEC コントロール Off 選択時のみ

ホットワイヤ式エアフロ信号の車両で、スロットルを急に戻した際に吹き返しによりエンジンストールしてしまう場合があります。
スロットルを急に戻した際に、吹き返しのエアでエアフロセンサが反応してセンサ信号が乱れてしまい、減速時に見合った燃料噴射が行えず、エンジンストールしてしまう事があります。
この様な場合、『Dec Air』の設定を行なうことでエアフロ信号出力に上限制限を行い、吹き返しのエアフロ信号を遮断しエンジンストールを防止することが可能です。
『Air Map』のエンジン回転数ポイント「Ne 02」以下の回転数で『Dec Air』で設定されたスロットル開度以下になった場合、『Dec Air』で設定されているエアフロ使用率以上のエアフロ信号の出力を行なわないようにし、エアフロ信号を安定させます。

※ スロットル信号が無い車両、スイッチ式のスロットル信号の車両の場合はこの機能は使用できません。
※ 上記以外の機械的な理由等によるストールを防止するものではありません。

□ 機能概要



□ 操作方法

左右 Key で「Thr」「Ne01」「Ne02」の移動を行ないます。
上下 Key で設定値の増減を行ないます。
「Thr」が『OFF』の場合はこの機能は動作しません。
「Thr」に設定されているスロットル開度以下のスロットル開度の時にこの補正は機能します。
「Ne01」「Ne02」に設定されている回転数は「Air Map」で「Ne01」「Ne02」に設定されている回転数です。『Air Map』の回転数を変更すると『Dec Air』の回転数も変更されます。(『Air Map』でのみ変更可能です。)「Ne01」「Ne02」それぞれのエンジン回転数の時のエアフロ信号の出力上限を設定します。「Ne01」と「Ne02」間のエンジン回転数の時は直線補間によりエアフロ信号上限を算出します。「Ne01」のエンジン回転数以下の時は「Ne01」のエアフロ信号上限が採用されます。
「Ne02」のエンジン回転数以上ではこの機能は動作しません。

□ 設定範囲

Thr：OFF、0.1 ～ 20.0 [%](0.1% 刻み)/ 初期値：OFF
Ne01、Ne02：0.0 ～ 20.0 [%](0.1% 刻み)/ 初期値：10.0
※ 回転数の設定は Air Map のエンジン回転数ポイント Ne01・Ne02 の設定に準じます。

V/T Control

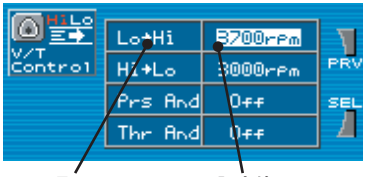
※ VTEC コントロール On 選択時のみ

VTEC 搭載エンジンの VTEC 切り替えポイントを任意に設定することが出来ます。
VTEC の Lo カムから Hi カムに切り替わるポイント（エンジン回転数）と Hi カムから Lo カムに切り替わるポイント（エンジン回転数）を個別に設定することができます。純正の切り替えポイントに係わらず任意に設定できます。
また、エンジン回転数による VTEC 切り替えだけでなく、一定の吸気管圧力（またはエアフロ使用率）、スロットル開度以上になった場合に VTEC の Lo カムから Hi カムへの切り替えを行なうことも可能です。

□ 操作方法

左右 Key で項目・設定値の移動を行ないます。
「Lo → Hi」、「Hi → Lo」のセルにいる場合に下 Key を押すと、「No Control」と表示され『V/T Control』は機能しなくなります。（ECU の VTEC コントロールになる。）
「No Control」と表示されている時に上 Key を押すと、「No Control」が解除され、『V/T Control』が機能します。
「Prs(Afl) And」、「Thr And」のセルにいる場合に下 Key を押すと「Prs(Afl) Or」、「Thr Or」に切り替わります。
「Prs(Afl) And」、「Thr And」と表示されている場合は VTEC 負荷制御がアンド条件になります。
「Prs(Afl) Or」、「Thr Or」と表示されている場合は VTEC 負荷制御がオア条件になります。

設定値のセルにいる場合には上下 Key で設定値の増減を行ないます。
下ナビ Key「SEL」を押す毎に「Lo → Hi」「Hi → Lo」「Prs(Afl) And(Or)」「Thr And(Or)」の移動を行ないます。



項目　　設定値

『No Control』と表示され『V/T Control』は機能しなくなります。

	アンド条件	
画面表示	Prs(Afl) And Thr And	
Lo→Hi 切り替わり条件	「Lo→Hi」の設定値以上のエンジン回転数 「Prs(Afl) And」の設定値以上の吸気管圧力（エアフロ使用率） 「Thr And」の設定値以上のスロットル開度	の全ての条件を満たしている時
Hi→Lo 切り替わり条件	「Hi→Lo」の設定値以下のエンジン回転数 「Prs(Afl) And」の設定値以下の吸気管圧力（エアフロ使用率） 「Thr And」の設定値以下のスロットル開度	のいずれかの条件を満たしている時、 またはエンジン回転数が 1500[rpm] 以下の時

	オア条件	
画面表示	Prs(Afl) Or Thr Or	
Lo→Hi 切り替わり条件	「Lo→Hi」の設定値以上のエンジン回転数 「Prs(Afl) Or」の設定値以上の吸気管圧力（エアフロ使用率） 「Thr Or」の設定値以上のスロットル開度	のいずれかの条件を満たしている時
Hi→Lo 切り替わり条件	「Hi→Lo」の設定値以下のエンジン回転数 「Prs(Afl) Or」の設定値以下の吸気管圧力（エアフロ使用率） 「Thr Or」の設定値以下のスロットル開度	の全ての条件を満たしている時、 またはエンジン回転数が 1500[rpm] 以下の時

※設定値が OFF の場合は条件に含まない。

□ 設定範囲

Lo→Hi：1600 ～ 7000 [rpm](100rpm 刻み)/ 初期値：4800
Hi→Lo：1500 ～ 6900 [rpm](100rpm 刻み)/ 初期値：4500
※ Lo→Hi ＞ Hi→Lo の関係が成立する範囲で設定可能です。
Prs And(Or)：OFF、-70 ～ 100[kPa](1kPa 刻み)/ 初期値：OFF
Afl And(Or)：OFF、1 ～ 99 [%](1% 刻み)/ 初期値：OFF
Thr And(Or)：OFF、1 ～ 99 [%](1% 刻み)/ 初期値：OFF

V/T Unmatch

※ VTEC コントロール On 選択時のみ

『V/T Control』の設定で任意の VTEC 切替えポイントを選択した場合、ECU は実際のカムの状態を認識できない為、通常のカム状態と認識し燃料噴射を行ないます。
その際、実際のカムに必要な燃料噴射量がズレてしまいますが、『V/T Unmatch』の設定により空気流量（吸気管圧力）を調整し、ズレを補正することができます。
『V/T Unmatch』では ECU が Lo カムと認識しているが実際は Hi カムの場合と、ECU が Hi カムと認識しているが実際は Lo カムの場合の２種類の設定が可能であり、それぞれに ± 50% の範囲で設定できます。
『V/T Unmatch』の補正率は、『Air Map』の設定に従って算出されたエア補正率に加算されて処理されます。加算後の最大値は ± 50% までになります。

□ 操作方法

左右 Key で「Lo/Hi」「Hi/Lo」の移動を行ないます。
上下 Key で設定値の増減を行ないます。
橙色の列の設定値は、ECU は Hi カムと認識しているが実際には Lo カムである場合の VTEC アンマッチ補正率の設定になります。
緑色の列の設定値は、ECU が Lo カムと認識しているが実際には Hi カムである場合の VTEC アンマッチ補正率の設定になります。
この列の色は、モニタメニュの『V/T Monitor』の下方にある VTEC ステータスバーの色と同じ意味を示します。
VTEC ステータスバーの橙色・青色の領域に VTEC アンマッチ補正率が有効になります。

□ VTEC ステータスバー

青色：ECU 、AFC neo 共に Lo カム出力
橙色：ECU は Hi カム出力、AFC neo は Lo カム出力
緑色：ECU は Lo カム出力、AFC neo は Hi カム出力
黄色：ECU 、AFC neo 共に Hi カム出力

□ 設定範囲

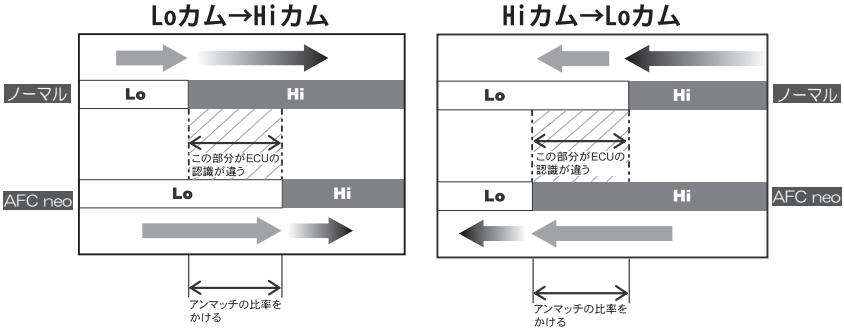
V/T Unmatch 補正率：+50 ～ -50 [%](1% 刻み)/ 初期値：± 0

□ 機能概要

・VTEC アンマッチ時燃料補正

ECU と AFC neo の VTEC コントロールが異なっているときの補正を行います。

VTEC アンマッチ時燃料補正とは・・・



この補正は、AFC neo で VTEC 切り替えポイントを変更したとき、ECU は実際のカムの状態を認識していないため、通常通りに燃料噴射を行ってしまい燃調がズレてしまうのを防ぐために設定します。
この設定を行うことで、より高精度な燃料補正を実現することができます。

・補正結果は以下の様になります。

＊[1]エア補正率＝エンジン回転数とスロットル開度による補正率＋アンマッチ補正率
＊１ -50% 以下、+50% 以上切り捨て

7. etc. メニュ

AFC neo の動作モードの設定や車両の設定、AFC neo の各種機能の設定、確認を行なうメニューです。
モニタメニュの基本操作 (14 ページ) ① より『etc.』を選択します。
『etc. Menu Select』の操作はモニタメニュの基本操作 ② に準じます。

Model Select

VTEC コントロール機能を有効にするか無効にするかを選択します。
HONDA 車の VTEC 搭載車両の場合は『V/T Control On』を、それ以外の車両の場合は『V/T Control Off 』を選択してください。
エンジン運転中は設定変更できません。また、設定変更後はセッティングメニュの設定値が初期化されるため、再度セッティングする必要があります。

□ 操作方法

VTEC コントロール On 時は上 Key で『V/T Control On』を、VTEC コントロール Off 時は下 Key で『V/T Control Off』を選択します。
選択が OK であれば下ナビ Key「OK」を操作します。
選択が不要、または変更を取り消したい時は上ナビ Key「CAN」を操作します。

選択が変更されて下ナビ Key「OK」が操作された場合、確認画面が表示されます。この時、エンジンが運転していた場合はエンジンを停止するよう警告の画面が表示されます。
警告画面はエンジン停止されるか、上ナビ Key「CAN」が操作されるまで表示されます。
確認画面表示中に下ナビ Key「OK」が操作されたら、モデルが切換わります。

モデルが切換わった場合、セッティングメニュの設定項目は初期化されます。
必要に応じて、各設定値のメモを取り控えてください。

Mode Select

『Air Map』設定のエンジン回転数 8 ポイントの『EASY』モードか、16 ポイントの『PRO』モードかを選択します。
『PRO』モードの方が回転数のポイントが多い為きめ細かいセッティングが可能になります。
使用状況・お好みにあわせて選択してください。
エンジン運転中は設定変更できません。また、設定変更後は『Air Map』の設定値が初期化されるため、再度セッティングする必要があります。

□ 操作方法

上 Key で『EASY』モード、下 Key で『PRO』モードを選択します。
選択が OK であれば下ナビ Key「OK」を操作します。
選択が不要、または変更を取り消したい時は上ナビ Key「CAN」を操作します。

選択が変更されて下ナビ Key「OK」が操作された場合、確認画面が表示されます。この時、エンジンが運転していた場合はエンジンを停止するよう警告の画面が表示されます。
警告画面はエンジン停止されるか、上ナビ Key「CAN」が操作されるまで表示されます。
確認画面表示中に下ナビ Key「OK」が操作されたら、モードが切換わります。

モードが切換わった場合、セッティングメニューの『Air Map』の設定値は初期化されます。
必要に応じて、設定値のメモを取り控えてください。

Car Select (Thr Setting)

車両情報を選択します。車両の気筒数、スロットルタイプの選択します。
スロットル信号のある車両はさらにスロットル設定を行ないます。スロットル設定を行なわない、または正常にスロットル設定が行なえない場合はセッティングメニュで必要になるスロットル開度の情報が不正な値で処理されるため適切な補正制御が行えません。

□ 操作方法

左右 Key で気筒数設定「Cyl」スロットルタイプ「Thr」の移動を行ないます。
上下 Key で設定値の変更を行ないます。

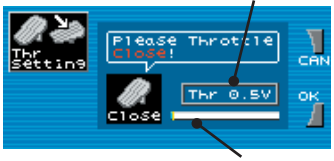
気筒数設定「Cyl」に車両の気筒数を入力してください。
ただし、下記車両は設定値が変わりますので指示に従って設定してください。

※ ロータリー車はローター数 × 2 で設定してください。
※ トヨタの V8 エンジン搭載車は 4 に設定してください。
※ マツダのアテンザ(GG ＃ S・GG ＃ P・GY ＃ W)は 2 に設定してください。

スロットルタイプ『Thr』が「↗」、「↘」の場合は、さらに右 Key を操作するとスロットル設定画面へ進みます。

スロットルタイプは現在のスロットルセンサ電圧を参考にしてください。「↗」は全閉→全開が 0 → 5 [V] 付近、「↘」は全閉→全開が 5 → 0 [V] 付近を意味します。
スロットル設定画面では、まずスロットルが全閉（アクセルペダルを踏まない）状態のスロットル信号を測定します。スロットル全閉状態で下ナビ Key「OK」を操作してください。
次にスロットルが全開（アクセルペダルを奥まで踏み込む）状態のスロットルセンサ電圧を測定します。
スロットル全開状態で下ナビ Key「OK」を操作してください。
スロットルタイプと測定結果が正常であれば、設定成功の画面が表示され、スロットル設定が完了します。測定結果が異常であれば設定失敗の画面が表示され、スロットル設定が初期化されます。再度設定してください。

全閉設定　現在のスロットルセンサ電圧



スロットル信号バー表示

全開設定

設定成功

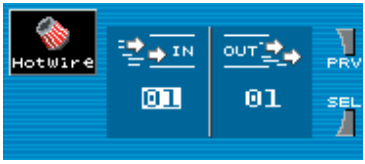
設定失敗

Sensor Select

車両のエアフロセンサの種類・特性を選択します。
エアフロセンサは、『Model Select』が『V/T Control Off』選択の場合はホットワイヤ式・圧力式・フラップ式・カルマン渦式から選択可能です。
『V/T Control On』の場合はホットワイヤ式・圧力式から選択可能です。
ホットワイヤ式・圧力式・フラップ式はさらにセンサの特性をセンサナンバから選択する必要があります。カルマン渦式はセンサナンバの選択はありません。
ホットワイヤ式センサの場合はさらに、センサの数をシングル・ツインから選択し、AFC neo の出力計算方式を選択します。(『V/T Control Off』選択時のみ可能)
センサナンバの特性から物理値 (例：ホットワイヤ式なら吸入空気流量) へ換算して補正処理し、再度センサナンバの特性の信号に変換して出力する為、同種類のエアフロセンサであれば特性を変更することも可能です。小径ホットワイヤ式エアフロを大径ホットワイヤ式エアフロへ変更するといった際に使用します。

□ 操作方法

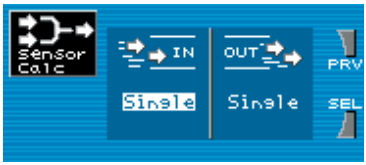
『Sensor Type Select』画面にて、上下 Key でエアフロセンサの種類を選択します。
『V/T Control Off』選択時では『Hot Wire』『Pressure』『Flap』『Karman』から選択可能です。
『V/T Control On』の場合は『Hot Wire』『Pressure』から選択可能です。
ただし、入力センサの数と出力の計算方式は選択できません。



『Hot Wire』『Pressure』『Flap』の場合は、右 Key または下ナビ Key を押しセンサナンバセレクト画面に進みます。
『Karman』の場合はセンサナンバを選択する必要はありません。『Sensor Type Select』画面で上下 Key で『Karman』を選択し、左 Key または上ナビ Key「PRV」を操作して『etc. Menu Select』に戻れば設定終了です。

『Hot Wire』『Pressure』の場合は入力「IN」のセンサナンバと出力「OUT」のセンサナンバを個別に設定できます。エアフロセンサを変更している時以外は同じ値を選択してください。
『Flap』の場合は「IN」「OUT」同じセンサナンバを選択します。
センサナンバの選択は上下 Key でセンサナンバを増減し、左右 Key で「IN」「OUT」の移動を行ないます。
『Pressure』『Flap』はセンサナンバの選択が終了したら、上ナビ Key を操作して『etc. Menu Select』に戻れば設定終了です。
『Hot Wire』の場合、「OUT」のセンサナンバを選択している状態でさらに右 Key を操作すると、入力センサの数と出力の計算方式の選択画面に進みます。

RB26DETT のようにエアフロセンサが 2 個付いている車両は「Twin」を選択してください。エアフロセンサが 1 個の場合は「Single」を選択してください。
「Single」の場合、出力計算方式としてセンサ数計算せずに出力される「Single」と、吸入空気流量値を半分に計算して出力する「Half」が選択可能です。
「Twin」の場合、2 個のエアフロセンサの吸入空気流量値を加算計算する「Add」と、平均化する「Ave」が選択可能です。
左右 Key で選択項目を移動し、上下 Key で設定値を選択します。
選択が終了したら、上ナビ Key「PRV」を操作して『etc. Menu Select』に戻れば設定終了です。



取付け車両のセンサの種類・センサナンバは車種別配線図を参照して設定してください。

□ 設定範囲

HotWire：01 ～ 30/ 初期値：1
※ IN：Single / OUT：Single・Half
※ IN：Twin / OUT：Add・Ave
Pressure：01 ～ 25/ 初期値：1
Flap：01 ～ 10/ 初期値：1
Karman：ー
※ センサデータが登録されていないナンバは表示されません。

Analog Scale

モニタメニュの『Analog』『Multi』で表示されるアナログメータの目盛りスケールを選択します。
エンジン回転数・エア補正率と、圧力式エアフロセンサの場合のみ吸気管圧力のスケールの選択が可能です。
車両の状態に合わせたスケールを選択してください。

□ 操作方法

左右 Key または下ナビ Key「SEL」で変更する項目を選択します。
上下 Key で設定値を増減します。
それぞれ 4 種類のスケールから選択可能です。

□ 設定範囲

Rev：6000、8000、9000、10000 [rpm] / 初期値：6000
Cor：± 6.0、± 15.0、± 30.0、± 50.0 [%] / 初期値：± 6.0
Prs：0、100、150、200 [kPa] / 初期値：0

Warning Set

モニタメニュで表示している時に表示値が設定値を超えた場合、ウォーニング表示を行ないます。
エアフロ（圧力）信号・エンジン回転数・スロットル開度の設定が可能です。
各表示項目が設定値を超えるとウォーニング表示を行ないます。（表示方法はモニタメニュの 15 ページから 17 ページの各項目の操作操作方法を参照）

□ 操作方法

左右 Key または下ナビ　Key「SEL」で変更する項目を選択します。
上下 Key で設定値を増減します。

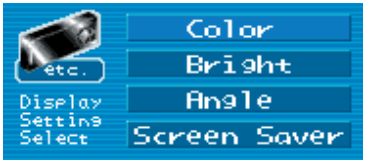
□ 設定範囲

Afl Warn：OFF、1 ～ 100 [%](1% 刻み）/ 初期値：OFF
Prs Warn：-100 ～ -5、OFF、± 0 ～ 200 [kPa](5kPa 刻み）/ 初期値：OFF
Kar Warn：OFF、100 ～ 2000 [Hz](50Hz 刻み）/ 初期値：OFF
Rev Warn：OFF、1000 ～ 9900[rpm](100rpm 刻み)/ 初期値：OFF
Thr Warn：OFF、1 ～ 100 [%](1% 刻み)/ 初期値：OFF

Display Set

表示に関する各種設定を行ないます。

『Color』では表示部の色基調と Key のバックライトの色を選択します。
『Bright』では有機 EL の輝度の選択を行ないます。
『Angle』では表示部と Key の位置関係を選択します。
『Screen Saver』ではスクリーンセーバの各設定を選択します。
『Display Setting Select』の操作はモニタメニュの基本操作 ② に準じます。

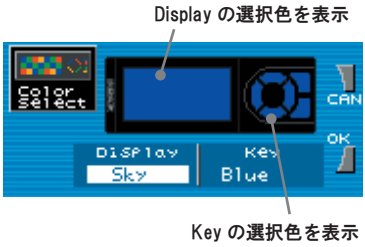


■ Color

表示部の色基調と Key のバックライトの色を選択します。
Key の色を変更した場合、七色に変色しながら指定の色に変更されます。

□ 操作方法

左右 Key で項目を選択します。
上下 Key で設定を変更します。
下ナビ Key「OK」を操作すると選択された設定に変更されます。
上ナビ Key「CAN」を操作すると設定を変更せずに『Display Setting Select』に戻ります。



□ 設定範囲

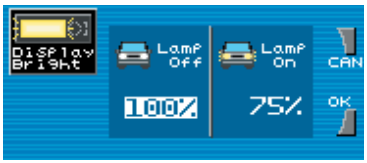
Display：Sky、Orange、Passion、MosGreen、Deep-Sea、Deep-Red、Prairie、Tiger
Key：Blue、Magenta、Red、Orange、Green、Cyan、Pink、Yellow

■ Bright

表示部の 有機 EL の輝度を選択します。
イルミ電源 On 時と Off 時それぞれに設定できます。

□ 操作方法

左右 Key で項目を選択します。
上下 Key で設定を増減します。
上下 Key で設定値を変更している時に表示部が指定の輝度で表示され輝度を確認することが出来ます。



□ 設定範囲

Bright：25、50、75、100 [%] / 初期値：Lamp Off 100、Lamp On 75

■ Angle

表示部と Key の位置関係を選択します。
表示を反転することで Key と表示部の配置を入れ替えることが出来ます。反転時は Key の意味関係も入れ変わります。

□ 操作方法

上下 Key で選択します。
下ナビ Key「OK」を操作すると選択された設定に変更されます。
上ナビ Key「CAN」を操作すると設定を変更せずに『Display Setting Select』画面に戻ります。
変更された場合、画面が反転し上下ナビ Key の位置が左右入れ替わります。
Key 配置は表示部を正面に見た状態からの方向になるため、上下、左右がそれぞれ入れ替わります。(12 ページの各部名称を参照)

■ Screen Saver

スクリーンセーバの設定を選択します。
スクリーンセーバが起動するまでの時間とスクリーンセーバの種類を選択します。
スクリーンセーバが起動した場合、どれか Key を操作すると解除されます。

□ 操作方法

左右 Key で項目を選択します。
上下 Key で設定を変更します。
下ナビ Key「OK」を操作すると選択された設定に変更されます。
上ナビ Key「CAN」を操作すると設定を変更せずに『Display Setting Select』画面に戻ります。
Key 無操作の時間が「Time」に設定された時間を越えた時にスクリーンセーバが起動します。
「Type」でスクリーンセーバの種類を選択します。
「Time」の設定が「OFF」の場合はスクリーンセーバは起動しません。

□ 設定範囲

Time：OFF、30sec、1、2、4、8、15、30min / 初期値：OFF
Type：1、2、3 / 初期値：3

Sensor Check

AFC neo に入力される各信号の状態を確認することが出来ます。
イグニッション信号電圧、エアフロ信号入力 1 電圧、エアフロ信号入力 2 電圧、スロットル信号電圧、エアフロ信号出力電圧、イルミ電源信号、VTEC 入力信号、カルマン渦信号、エンジン回転信号を表示し、チェックを行ないます。
配線後、正常に接続されているかの確認や、各センサの状態をチェックすることができます。

□ 操作方法

上ナビ Key「PRV」を操作すると『Display Setting Select』に戻ります。
「IG」「In1」「In2」「Thr」はそれぞれ測定電圧が表示されます。
「Out」は実際に出力しているエアフロ出力信号電圧を表示します。
「Lamp」「VTi」は入力信号の On・Off を表示します。「●」が ON、「○」が OFF を意味します。
「Kar」「Tco」はパルス信号の入力状態を表示します。「ーー」は入力無し、「⎍⎍」はパルス信号の入力があることを意味します。

表示項目	意味	表示項目	意味
IG	イグニッション電源電圧	Lamp	イルミ電源信号
In1	エアフロ（圧力）信号入力 1 電圧	VTi	VTEC 入力信号
In2	エアフロ信号入力 2 電圧	Kar	カルマン渦センサ信号
Thr	スロットル信号入力電圧	Tco	エンジン回転信号
Out	エアフロ（圧力）信号出力電圧		

Initialize

全データをクリアし、初期値のデータ（工場出荷値）に戻します。
エンジン運転中は初期化を実施することはできません。また、初期化後は全ての設定値が初期化されるため、再度セッティングする必要があります。

□ 操作方法

上 Key で実施「Yes」を選択します。
選択が OK であれば下ナビ Key「OK」を操作します。
選択が不要、または変更を取り消したい時は上ナビ Key「CAN」を操作します。
下ナビ Key「OK」が操作された場合、確認画面が表示されます。

この時、エンジンが運転していた場合はエンジンを停止するよう警告の画面が表示されます。
警告画面はエンジン停止されるか、上ナビ Key「CAN」が操作されるまで表示されます。
確認画面表示中に下ナビ Key「OK」が操作されたら、初期化が実施され、AFC neo が自動で再起動します。

初期化が実施された場合、全ての設定項目は初期化されます。
必要に応じて、各設定値のメモを取り控えてください。

Program Ver.

AFC neo のプログラムバージョンを確認します。
このプログラムバージョンは、弊社問い合わせ時などに利用します。

MEMO

Setting note

AFC neo のセッティングデータを取る際にご利用ください。

☐ Model Select V/T： On ・ Off

☐ Mode Select Easy ・ Pro

☐ Car Select Cyl：____ Thr： ↗ ↘ ー

☐ Sensor Select Type：Hotwire・Pressuer・Flap・Kalman

Number：In ____,Out ____

Calc： In ____,Out ____

☐ Air Map

	Ne01	Ne02	Ne03	Ne04	Ne05	Ne06	Ne07	Ne08
	rpm	rpm	rpm	rpm	rpm	rpm	rpm	rpm
Hi Thr	%	%	%	%	%	%	%	%
Lo Thr	%	%	%	%	%	%	%	%

Ne09	Ne10	Ne11	Ne12	Ne13	Ne14	Ne15	Ne16
rpm	rpm	rpm	rpm	rpm	rpm	rpm	rpm
%	%	%	%	%	%	%	%
%	%	%	%	%	%	%	%

☐ Thr Point

____ % ____ %

☐ V/T Control

Lo → Hi	rpm
Hi → Lo	rpm
AFL/PRS	
Thr	

☐ Dec Air

Thr	Ne01	Ne02
	rpm	rpm

☐ V/T Unmatch

	Lo	Hi
	Hi	Lo
	%	%

☐ Analog Scale **Rev : 6000 · 8000 · 9000 · 10000**

Cor : ± 6.0 · ± 15.0 · ± 30.0 · ± 50.0 [%]

Prs : 0 · 100 · 150 · 200 [kPa]

☐ Warning Set **Afl · Prs · Kar Warn** _____

Rev Warn_____

Thr Warn _____

8. トラブルシューティング

こんなときは？

□ 電源関係

● 電源が入らない。振動などで電源が切れる

バッテリが接続されていますか？
車両の ECU ハーネスに信号ハーネスが確実に接続されていますか？
信号ハーネスと本体ハーネスは接続されていますか？

□ 表示関係

● 各信号が表示されない。表示部が点滅する

信号ハーネスの接続先を間違えていませんか？車種別配線図を参考に再度確認してください。

● 表示部が暗い

『Display Set』の『Bright』が低く設定されていませんか？

● 回転数表示がおかしい

気筒数設定が間違っていませんか？

● スロットル開度がおかしい

スロットル設定が正常に出来ていますか？

● エアマップが変更できない

設定値ロックが掛かっています。取付店にご相談ください。

● 画面が勝手に切り替わる。キー操作を受け付けない

取付店にご相談ください。

□ エンジン不調

● エンジンが始動しない。エンジンがストールする。アイドリングが不安定。エンジンチェックランプが点灯する。吹けない、かぶっている

『Sensor Type Select』が間違っていませんか？
エアマップに異常な値を設定していませんか？
信号ハーネスの接続先を間違えていませんか？
車両の ECU ハーネスに信号ハーネスが確実に接続されていますか？
スロットル設定が正常に出来ていますか？

MEMO

MEMO

MEMO

9. その他

1. 本製品の仕様、価格、外観等は予告なく変更される場合があります。
2. 本書の内容は、予告なく変更される場合があります。
3. 故障、修理、その他の理由に起因する記憶値の消失による損害等については一切補償できません。
4. 修理時は設定値、記憶値等を全て初期化した状態での返却となります。
5. 本書の一部、または全部を無断で複写することを禁止します。
6. 本書に記載されている社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
7. 下記、お問い合わせ先の名称、住所、電話番号は 2012 年 12 月 現在のものです。なお、名称、住所、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

保証について

本製品は保証書記載の内容にて保証されます。
製品の保証は本書パーツリスト記載のものに限り有効です。

改定の記録

版数	発行年月日	取扱説明書部品番号	記載変更内容
初版	2012 年 12 月 18 日	7107-0630-00	

お問い合わせ先

Apex 株式会社

住　　所　〒 419-0313　静岡県富士宮市西山 1890-1
●お客様相談室 TEL：0544-65-5061

Ａｐｅｘ株式会社　Printed in Japan